

日本共産党さこ祐仁です。

最初に、コロナ禍が2年を迎えようとする中、医療や介護分野などで働く皆さんや本府職員の皆さんには、昼夜を分かたず府民の命と暮らしを守る先頭に立ってご奮闘いただいていることに感謝の意を表します。

さて、ただいま提案されています議案14件すべてに、賛成するものですが、この間、我が党議員団は「新型コロナ・原油高騰・生活支援対策本部」を立ち上げ、業界団体等への聞き取り調査や、先日は、街頭に出て「なんでも相談会」を行い、そこから見えてきたコロナ禍の影響に加え、原油、原材料高騰によりいっそう厳しくなっている府民の暮らしや生業を支援するために、次の点を要望します。

最初に、第2号議案「令和3年度京都府一般会計補正予算（第19号）」と第17号議案「令和3年度一般会計補正予算（第20号）」についてです。

第1に、中小企業や飲食店、商店街、伝統産業などへの支援が含まれていますが、現場の実態に照らすと不十分と考えます。

これまでの長期間にわたる人流抑制や営業自粛の影響で、地域の経済活動は冷え込んでおり、「これでは年が越せない」「事業継続を見通せない」などの厳しい声も出され、各地で行われる食材提供などの取り組みには、多くの方が列を作る状況が続いております。

新たな機器整備等、事業者のさらなる取り組みへの支援ではなく、緊急事態を乗り切ることが出来る直接支援など、全体の底上げ策となるようにするとともに、府民への福祉灯油の実施など、暮らしと営業への緊急支援を実施することが必要です。また、来年4月以降にゼロゼロ融資の返済する事業者が増えると言われており、資金繰りの厳しい事業者への返済猶予の延長と合わせて、さらなる運転資金等への支援を至急実施することです。

第2に、原油高騰や原材料高騰について対策を至急を実施することです。農業用ハウス等や漁船に使う重油や灯油などの燃料、タクシーなどのガソリンやLPガスなどの燃料の高騰は「負担が年初のリッター5、60円代から90円になり、今後100円になるとの話もあります。夜の町は、タクシーに乗る時間まで飲み歩く人はいない。燃料費への支援があれば助かる」など影響が出ております。また建設関係ではウッドショックやアイアンショックなどの建築資材や器機の高騰・不足で給湯器など入荷が2、3カ月遅れ、工期通りに引き渡しができない。見積金額から資材関連の値上がり分が赤字になると言われております。クリーニング店はコロナ禍で売り上げが減少しているうえに、ボイラーを焚く灯油が年初はリッター当たり75円が、11月は98円になっており、営業が厳しいなどの声もあります。

また、「街頭なんでも相談会」では、高齢者だけでなく高校生も「病氣した時が不安」「将来の年金が心配」。学生は「授業は半分がオンライン。今後どうなるのか心配」。子育て世代の方たちは保育料値上げなど「子育てが心配だ」との声があがっております。

今臨時国会に、岸田政権が提案した総額約 36 兆円の補正予算は、子育て世帯への 10 万円給付について、5 万円をクーポン支給にすることで約 1000 億円もの事務費が増えることに批判の声が上がり、政府も国民の大きな批判を前に、一括給付を認めるなど、右往左往し、市町村は振り回されています。またコロナ関連の経営破綻は 3 カ月連続で過去最高を更新しています。事業復活支援金の規模を倍増し、家賃支援給付金を再支給すべきです。コロナ融資の返済減免や社会保険料減免措置も必要です。また、看護、介護、保育、福祉の現場で働く方の賃上げ幅の抜本的な引き上げや消費税減税等を国に求めることです。

また府として、コロナ禍での年末年始対策として相談体制の拡充を関連機関と連携し実施することとあわせ、原油・原材料高騰の厳しい事態に対し、「対策本部」を立ち上げるなど特別の体制をとり、緊急に実態調査を行うことを求めています。

次に、第 9 号、10 号、11 号議案「新行政棟・文化庁移転施設整備工事請負契約変更の件」については、これまでも指摘してきましたけれども、そもそも文化庁移転は国事業であり、府が負担するのは筋が違うこと、さらに追加工事でそれが膨らむのは問題があるということを指摘しておきます。

最後に一言申し上げます。

北山エリア整備基本計画について、昨日、白紙撤回を求めた府民集会在が 300 人もの方々が参加して開催されました。今議会で、整備計画の事業収支や構想について、企画提案を請け負う募集を行っていた「北山エリア整備事業手法等検討業務」に係る公募型プロポーザルの実施についての資料を今月 8 日にホームページから削除していたことが所管の委員会質疑で明らかになり、知事が陳謝されました。

問題は、削除の理由として「いろいろな意見がある。あれが誤解を与えている」と言ったように、情報を府民に知らせないまま計画を推し進めていることです。北山エリア開発は全ての情報を公開し、いったん白紙に戻して府民的に議論すべきです。以上指摘して討論を終わります。

ご清聴ありがとうございました。